

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで（☎65-6504）。※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 ジーバーぽこぽこ (代 表) 植谷 善之さん(☎62-8406)

活動場所 各小学校区の保育園、幼稚園
小学校、老人施設



活動PR

10年前に16人から始まったこの会は、今年11年目で仲間が100人を超えそうです。増えていく理由は、子どもや孫たちの笑顔と、喜ぶ姿が見えてくるからです。

地元の保育園、幼稚園、小学校へ行って絵本を読んだり、話したりすると「また来てね」「今度は違う本を読んでね」と言って元気をくれます。

本が好き、子どもが好きな方、ぜひ入会してください。多くの楽しい仲間たちが待っています。

すでに今年の養成講座が始まっています。お急ぎください。

入会の申込みは健康推進課(☎65-7759)までお願いします。

7月11日(土) タイ王国の魅力がいっぱい

タイの文化に親しんでもらおうと6月から行われてきた「タイ王国フェア」。最終日には、タイの伝統文化を愉しむイベントが長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスGEOで開催されました。

この日は、多文化サークルと滋賀文教短期大学のタイ人留学生による文化紹介、手の動きが特徴的で美しいタイ舞踊の披露とプチレッスンが行われました。また、カレーやデザートなどタイの食文化を皆で楽しみ、交流の花が咲きました。



7月12日(日) もしものときに備えて

福井県にある美浜発電所の事故を想定して原子力防災訓練が行われました。この訓練は、大規模避難にかかる体制の検証、対応手順の確認、原子力防災対策の充実を図るため市と県が合同で行ったものです。

今回は、余呉地域の住民約500人が訓練に参加。余呉の避難集合場所からバス14台に分乗し長浜ドームに移動。スクリーニングを受けた後、専門家による講演会を聞き、原子力事故に関する知識を深めました。



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見つけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゆ〜す」 検索

7月1日(水)~ 安心安全な社会づくりをめざして

犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について理解を深めようと、全国的に展開している「社会を明るくする運動」。

7月はその強調月間で、市内でも駅前や大型量販店・スーパーなどで中高生や保護司会、更生保護女性会のメンバーが、うちわやポケットティッシュなどを配りながら元気に呼びかけ、啓発活動を行いました。



7月7日(火) 富田人形を通じて国際交流

滋賀県選択無形民俗文化財である人形浄瑠璃「富田人形」を学ぶ留学生たちが、びわ北小学校で「式三番叟」を披露しました。留学生はアメリカやイギリスなどから「富田人形サマープログラム」に参加する大学生11人。ホームステイをしながら人形使いや三味線、浄瑠璃語りなど、日本文化を中心に学んでいます。

児童との交流会では、簡単な英語や片言の日本語、身振り手振りを交えながらコミュニケーションを図りました。



7月10日(金) 千日分のご利益を求め全国から

高月町唐川にある赤後寺で営まれた恒例の千日会法要。国の重要文化財「千手観音立像」と「聖観音立像」はコロリ観音の愛称で親しまれ、3回お参りすると天寿を全うし、何の苦しみもなくコロリと極楽往生できるという珍しいご利益があるとされ、全国から信仰を集めています。

千日分お参りしたのと同じご利益があるとされるこの日、地元の人はもちろん、県内外から多くの参詣者が訪れ、静かに手を合わせていました。



7月10日(金)、11日(土) 耕作放棄地をもう一度畑に

金太郎伝説の残る西黒田地域でNPO法人つどい主催の「大豆の種まき」イベントが開かれました。「つどい」では、地域ボランティアの協力を得ながら、耕作放棄地を再活用するため「きんたろう村農園」として農作物の栽培や畑の管理を行っています。

この日は、子どもも参加して、ボランティアの人たちに教わりながら大豆の種を植えました。種まきのあとは、農園で育ったトマトやナスなど旬の野菜を摘み取り、ピザ生地にトッピング。石窯で焼き、出来立てを味わいました。

